

花粉症の新しい治療法「舌下免疫療法」

スギやヒノキ、ブタクサ、イネなどに花粉によって引き起こされる花粉症（アレルギー性鼻炎）は現在、日本人の約3人に1人がかかっており「日本の国民病」とも言われている病気です。山梨県は特に日本一花粉症患者が多い県として知られており約2人に1人が花粉症という統計もあります。

花粉症は生命に影響を及ぼすことはほとんどありませんが、くしゃみ、鼻水、鼻づまりなどの症状がひどくなると、仕事や勉強、家事、睡眠、外出などといった日常生活に差し支えます。特に子供では学習能力に影響するとも言われています。そのため、花粉症は積極的に治療することが望ましいと考えられています。

2014年からスギ花粉症に対して「舌下免疫療法」（ゼッカメンエキリョウハウ）という新しい治療法が保険適応となりました。この治療は現在の内服薬などによる治療法と異なり、スギ花粉症が完全になくなることが期待される治療法です。舌下免疫療法はスギ花粉を口の中に毎日数分間含むことによって体をスギ花粉にならしめていくことで最終的には花粉症をなくす治療法です。欧米ではすでに数十年の歴史がありその効果は十分に確かめられています。

スギ花粉症に毎年ひどく悩まされている人にはぜひお勧めしたい治療法です。

当院では**毎週火曜日の外来**にて、山梨大学免疫学講座教授の**中尾医師**が「舌下免疫療法」の診療にあたります。

“花粉症”のことでお悩みの方は、ぜひ一度ご来院ください。

